

農業分野向けSaaS型業務支援サービス 農業の「経営」「生産」「顧客」の 見える化を支援する

エフアンドアグリパック

「F&AGRIPACKシリーズ」

日本の農業においては、現在、農地の面的集積を進めながら経営規模を拡大しつつあります。そこで、経営・生産・顧客を効率的に管理するツールとして富士通は、JAグループ・農業生産者・農業法人等のお客様を支援する「F&AGRIPACKシリーズ」を発表、「F&AGRIPACK 経営管理」と「F&AGRIPACK 栽培管理」のご提供を開始しました。

さらに、サービス拡充とサポート強化のため「AGRIソリューションセンター」(約100名)を拠点として、「経営の見える化」「生産の見える化」「顧客の見える化」に応じたソリューションを順次ご提供していきます。

SaaS型業務支援サービス「F&AGRIPACKシリーズ」は、インターネットに接続可能なPCがあれば導入当日から利用でき、データバックアップや更新プログラムの適用等も不要なため運用負担が小さく、システム専任担当の確保・育成等の課題を解決します。

「F&AGRIPACK 経営管理」は、会計、給与、税務申告といった、農業経営に必要な基本業務機能を一貫してご提供します。農業独自の複雑な処理に対応しながら、日常業務のイメージで伝票の取引区分を選択するだけで自動仕訳できる等、会計の専門知識なしで利用できます。税制等の改正に対してもセンター側で対応します。

「F&AGRIPACK 栽培管理」は、食の安全・安心を確保するために、作業、施肥、防除の記録を効率的に管理する生産履歴管理サービスとGAP (Good Agricultural Practice) 運用支援サービスをご提供します。

詳しくは ▶▶▶ <http://jp.fujitsu.com/about/journal/cloud/products-services/201005/>

データセンター向けに機能・性能強化 ネットワークサーバ 「IPCOM EXシリーズ」 新ラインナップ登場

ICTシステムに必要なシステムフロント機能を1台に統合したネットワークサーバ「IPCOM EXシリーズ」は、省スペース化、消費電力の削減及びシンプルで高信頼なシステムフロントの提供を実現してきましたが、今回、クラウドサービス等の環境の変化に対応し、以下の3つの機能を強化しました。

1) データセンター向け性能・機能の強化

- 最新のマルチコアアーキテクチャーを採用し、従来に比べて2~4倍の性能を実現。
- 最上位機種「IPCOM EX2500」は、インターフェースをサーバラック内に搭載したサーバのケーブル接続イン

ターフェースと同じ方向にあわせられることで、ケーブル配置を容易にする等、サーバラック内の高集積化を支援。
・消費電力の低減とデータセンター等で多く利用されている工業用電源 (AC200V) に標準対応。

2) セキュリティ強化

- 「IPCOM EX2500」は、新暗号カードによりSSLアクセラレータ性能を従来の1.8~2.5倍に向上。

3) サーバ負荷分散の強化

- ERPパッケージの適用で要望される折り返し負荷分散、メールの安全性により、アンチウイルスサーバの経由可否を実現する透過型負荷分散の実現。
- 故障監視機能を改善し、高い信頼性でのサーバ故障の検知やWebアプリケーション移行時のURI変更という課題を解決するURI置き換え機能を提供。
- デスクトップ仮想化アプリケーションの負荷分散機能による可用性向上、SSLアクセラレータ機能による性能向上も実現。

詳しくは ▶▶▶ <http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/20100506/>

富士通ジャーナルサイトもあわせてチェック!

富士通ジャーナルサイトでは、冊子でご紹介した製品の詳しい情報や、冊子ではご紹介しきれないお奨めの製品情報を随時更新しています。ぜひご覧ください。

富士通ジャーナル プロダクト&サービス

検索

<http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/>